楽しい＆安心な買い物のヒント

～買い物同行調査の結果から～

国立長寿医療研究センター　企画戦略局
進藤　由美

買い物の楽しみ
（日本生活協同組合連合会実施：2022年）

【対象】 全国の組合員　　【方法】 WEBアンケート調査

【調査期間】 2021年11月30日～12月6日　【有効回答数】４,479件

【調査結果】 買い物の楽しみ（複数回答）

「商品を見ること、選ぶこと自体」（50.2%）

「新しい商品との出会い」（45.1%）

「ポイントを貯めること」（38.9%）

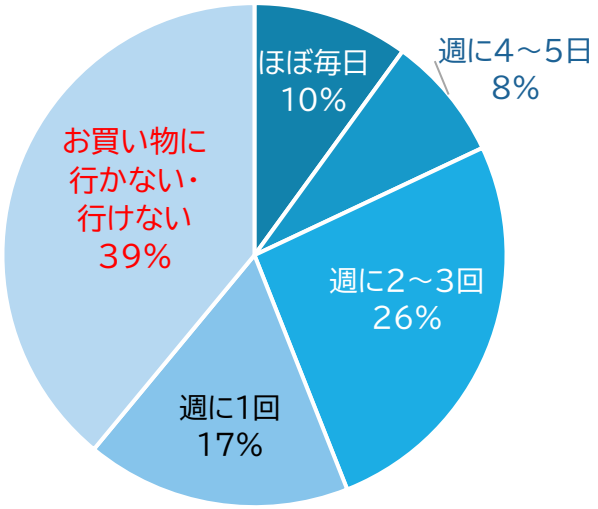
「商品を実際に確認・体験できること」（36.4%）

出典：日本生活協同組合連合会「コロナ禍の買い物行動アンケート調査」（2022年2月3日）
https://jccu.coop/info/newsrelease/2022/20220203_01.html

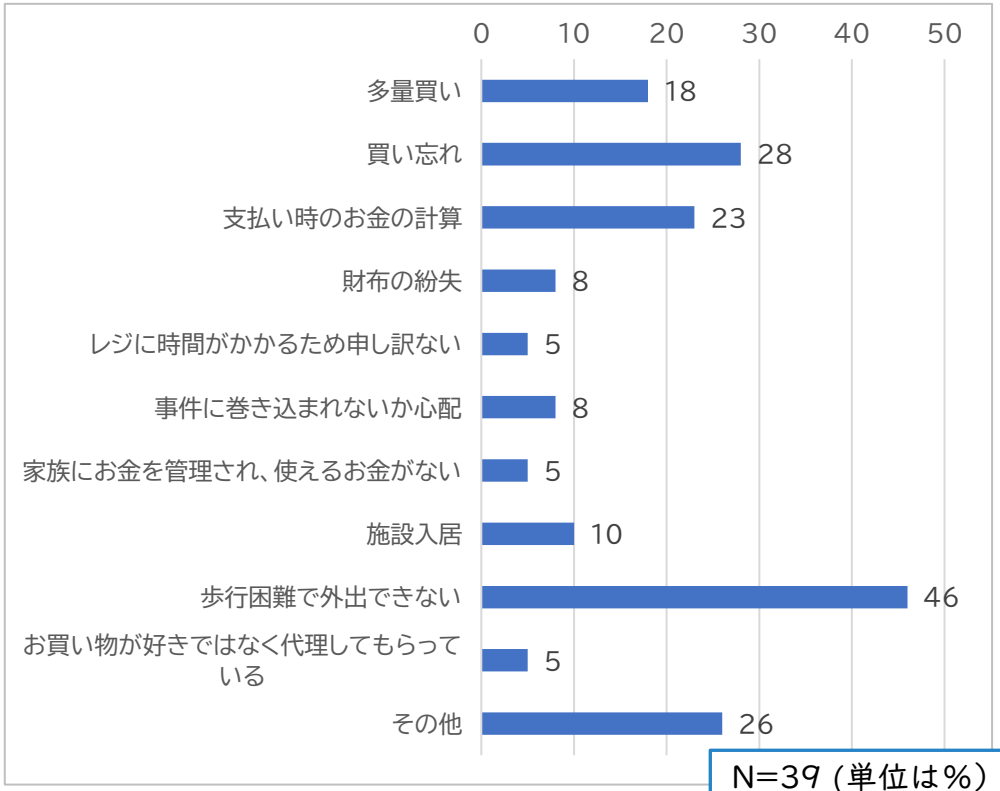
認知症のある方の買い物状況と不安
（KAERU株式会社実施：2021年）

【調査対象】40～60代を対象とした
認知症のある方、
認知症の方をサポートする
家族・知人・介護職
【方法】インターネット調査

Q： お買い物に行く頻度



Q： お買い物に行けない理由



N=39（単位は%）

出典： KAERU株式会社「認知症・軽度認知障害と診断された方の39%が「買いものに行かない・行けない」理由とは？」（2021年10月18日）
認知症当事者のお買いもの事情の意識調査（インターネット調査）
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000084783.html

まち歩き調査の概要

【目的】
認知症のある方と家族、研究者が共に「買い物」に行き、そこで当事者や家族が感じた「買い物のしやすさ」や「しにくさ」に関する発言を収集・記録。認知症のある方や家族が「買い物しやすい環境」に必要な要素を整理し、今後の検討や改善に向けた基礎情報とする。

	第1回　イオンモール東浦	第2回　げんきの郷
日程	令和6年4月24日(水)	令和6年6月28日(金)
集合場所	金山駅	金山駅、大府駅、げんきの郷
参加者	認知症のある方：　2名 ご家族：　2名 支援者(インタビュアー含む)：　6名	認知症のある方:4名 ご家族:4名 支援者(インタビュアー含む)：　9名
買い物内容	事前に決めたものを探し、購入	食料品の購入(昼食を含む)
方法	買い物中の会話を録音し、後日逐語録を作成。	

当日の流れと確認ポイント

【当日の流れ】

集合

現地到着
簡単な打ち合わせ

グループに分かれて
買い物

昼食
振り返り・共有

解散

【確認ポイント】

【A:　場所】
- 店舗までの道
- 買い物対象の店舗
- 食事空間(フードコート)
- トイレ

- 名古屋市中区
- 愛知県庁

【B:　項目】
① 色とコントラスト
② 照明、明るさ
③ サインと目印
④ 親しみや安心感への配慮
⑤ その他
動線、配列・配置、音量・選曲、支払い　等

＊スターリング大学「認知症にやさしい環境デザイン」、福岡市の「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」参照

今後に向けて

- 今回の調査結果は、あくまでも「大規模店舗」で実施したもので、かつ「対象者」も少人数である。
- ここでの意見・気づきが、他の店舗や他の認知症のある方と同様か、異なるかについて、今後も検証が必要。
- 「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」

日常生活及び社会生活を営む基盤となるサービスを提供する事業者の責務	公共交通事業者等、金融機関、小売業者その他日常生活及び社会生活を営む基盤となるサービスを提供する事業者は、国及び地方公共団体が実施する認知症施策に協力するとともに、そのサービスを提供するに当たっては、その事業の遂行に支障のない範囲において、認知症の人に対し必要かつ合理的な配慮をするよう努める

→ 認知症のある方、そしてご家族と共に、
買い物をし続けられる店舗づくりを！

ご協力をいただきました名古屋市認知症相談支援センターの職員の皆様、
そして「トイプードルの会」ご参加者の皆様、
イオンモール東浦、げんきの郷の皆様に心から御礼申し上げます。

y.shindo@ncgg.go.jp